

出展事業実施報告書

作成日 平成 31 年 2 月 11 日

作成者 地域連携推進課

|              |   |
|--------------|---|
| 出展内容         | 体験型ブース<br>「食育SATシステムを使って普段の食事内容をチェックしてみよう」  |
| イベント名<br>主催者 | 「あおり食育推進大会 2019」<br>青森県農林水産部食の安全・安心推進課  |
| 出展実施日時       | 平成 31 年 2 月 10 日（日） 11：00～13：00<br>（イベント全体 11:00～15:00）   |
| 場所           | 青森県総合社会教育センター 大研修室・第1研修室  |
| 出展担当者        | 栄養学科 教員 2 名 准教授 大野 智子、准教授 鹿内 彩子<br>栄養学科 学生 7 名  |
| 参加者・人数       | 一般 約 35 名 （イベント全体参加者数 125 名）  |
| 実施概要         | <p>「あおり食育推進大会 2019」は、県民の食育実践向上を図るため開催されたものである。本学は、栄養学科教員による企画として、「食育SATシステム」を使った体験型ブースの出展を行った。</p> <p>「食育SATシステム」は、実物大フードモデルを選んでセンサーボックスに載せると 1 食分の食事バランスを確認することができるものであり、イベントの参加者である一般の方々と同システムを体験してもらうことにより、自身の日頃の食生活における栄養バランスの見直しや、食事内容の改善へのきっかけ作りとなることをねらいとし、出展を企画したものである。</p> <p>イベント当日は、リアルな実物大フードモデルを使ったシステムに一般の参加者からの注目度も抜群で、多くの方々に食育SATシステムを気軽に体験していただいた。参加者の方々からの食事や栄養に関する質問に対しては、スタッフとして参加した栄養学科の学生たちが助言を行うなど、楽しく会話する様子が見受けられた。</p> <p>本出展を通じ、企画の当初のねらいどおり、一般の方々が自身の日頃の食事内容の振り返りや栄養面に関心を持つための良いきっかけ作りができたと感じた。イベントの主目的である「食育は身近にある食材で手軽に始められることをわかりやすく紹介する取組」を行うという主目的も達成できたと思われる。主催者側からも、「食育SATシステムには多くの方が興味を持ったようで、勉強になったという声を多数いただいた。」とのコメントをいただいた。</p> <p>本学学生にとっても、出展を通じて一般の方々に対する栄養指導を体験することができ、専門的な内容を人々に理解しやすく説明する工夫や食生活改善をどう動機づけていくか等、考え、実践する良い機会となり、将来の栄養</p> |

|      |  |
|------|--|
|      | 関係の専門職としての意識及び経験の向上につながったと考える。   |
| 特記事項 | イベントでは、「お楽しみ抽選会」も行われた。本学からは、大学オリジナル製作の「毎日ヘルスリテラシーカレンダー」等を詰め合わせたセットを各1名、合計3名様に提供した。 |

当日の様子



食育SATシステムの前で記念撮影する  
本学スタッフ一同  
さあ、来場者への対応の準備は万端！



これが食育SATシステムのフードモデル  
この中から、日頃の食事を選んでもらって  
栄養価などを算出する。



来場者のお話を伺いながら、  
フードモデル選びのお手伝いをする学生たち



フードモデルを選んだら、  
センサーボックスに載せ、栄養バランスの確認  
来場者だけではなく、スタッフもドキドキ



次々とお客さんがお越しくださり、食育SATシステムを体験していただきました。  
御来場の皆様の普段の食事内容の確認にお役に立てた様子に、スタッフ一同、大満足でした！